My Time
マイタイム

年金原資保証型変額個人年金保険

特別勘定　月次運用レポート

特別勘定名称
世界資産分散型S2

2026年10月発行

［募集代理店］

みずほ証券株式会社

［引受保険会社］

第一フロンティア生命保険株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-876-126
営業時間 9:00～17:00（土日、祝日、年末年始などの休日を除く）

（登）B23F0124(2023.11.29)

投資リスクについて

この保険は、国内外の株式・債券や外国不動産投信などで運用しており、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

諸費用について

この保険にかかる費用は、運用期間中は「保険契約関係費」「資産運用関係費」の合計額、年金受取期間中は「保険契約関係費（年金管理費）」となります。ただし、契約日から10年未満の解約時などには、この他に別途「解約控除」がかかります。

運用期間中

◇すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
保険契約関係費	特別勘定の資産総額に対して 年率 1.95%	左記の年率の1/365を積立金から 毎日控除します。
資産運用関係費※	信託報酬は、投資信託の純資産総額に応じて 年率 0.275%（税込）を上限	左記の年率の1/365を投資信託の 信託財産から毎日控除します。

※上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券の売買委託手数料および消費税などを間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。
記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により今後変更される場合があります。

◇特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
解約控除	基本保険金額 （減額の場合は減額する部分の基本保険金額）に 経過年数別の解約控除率（7.0%を上限）を 乗じた金額	解約・減額または 「運用期間中年金支払移行特約」を 付加した時の積立金から控除します。

年金受取期間中

項目	費用	時期
保険契約関係費※ （年金管理費）	受取年金額に対して最大 0.35% （10年保証期間付終身年金の保証期間経過後、 および死亡時保証金額付終身年金の場合は最大 1.0%）	年金支払開始日以後、 年金支払日に控除します。

※年金額は年金支払開始日以後、年金（死亡時保証金額付終身年金の場合の死亡時保証金額を含みます。）の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。
なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「運用期間中年金支払移行特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

ご留意事項

＊年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
＊このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
＊このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」を必ずご覧下さい。
また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

特別勘定の運用レポート

2026年9月末現在

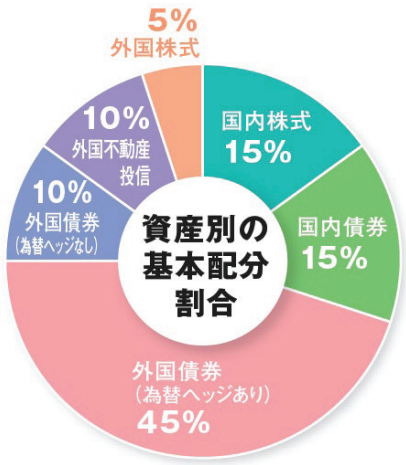
特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象の投資信託	運用会社
世界資産分散型S2	DIAM世界アセットバランスファンドVA （適格機関投資家向け）	アセットマネジメントOne株式会社

＊2023年10月末に特別勘定および投資信託を変更しております。なお、この変更による実質的な運用方針や運用内容の変更はございません。
詳細につきましては、2023年8月にお送りしている「特別勘定に関するお知らせ」ならびに「特別勘定のしおり」をご覧ください。

主な投資対象の投資信託と運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
DIAM世界アセットバランスファンドVA （適格機関投資家向け）	主として内外の株式および公社債、海外の不動産投資信託を主要投資対象とする投資信託へ投資し、リスクを抑えながら安定した収益の確保と長期的な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式15%、国内債券15%、外国株式5%、外国債券（為替ヘッジなし）10%、外国債券（為替ヘッジあり）45%、外国不動産投資信託証券10%です。

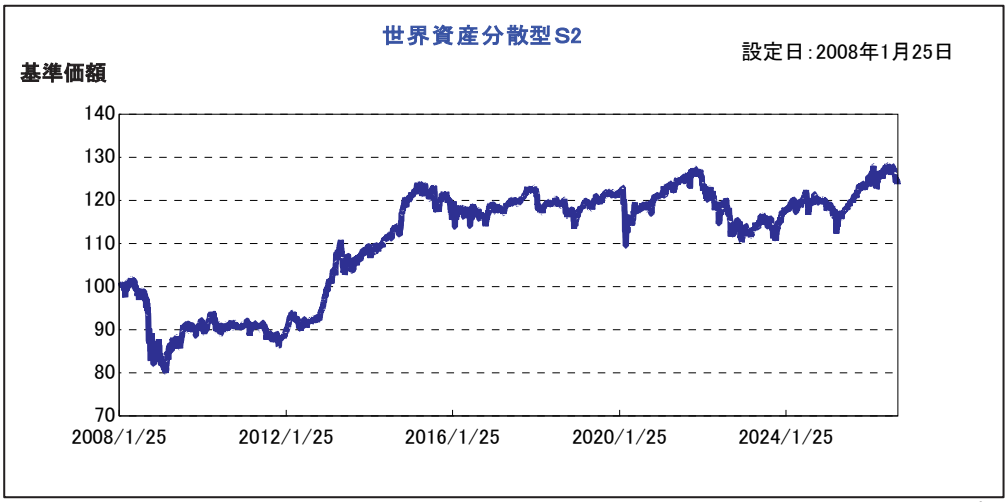


特別勘定資産の内訳

資産総額（百万円）	資産配分	
	投資信託	現預金等
96	99.7%	0.3%

＊特別勘定は投資信託を主たる投資対象として運用する他、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。
＊特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



＊非表示部分を四捨五入

騰落率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来	基準価額（2026年9月末）
	−2.46%	−3.38%	0.99%	2.52%	9.69%	24.02%	124.0202

＊2023年10月末以前の数値は世界資産分散型S、同年11月以降の数値は世界資産分散型S2で算出、掲載しています。
＊特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。
特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

＊年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
＊このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
＊このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

〈参考情報〉 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
世界資産分散型S2

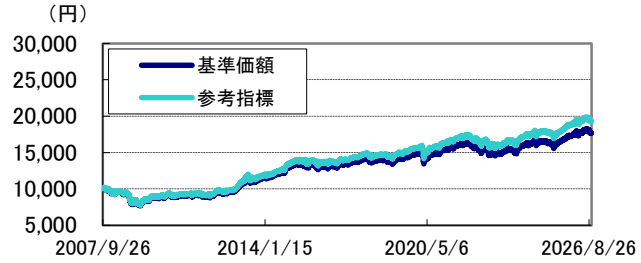
※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンドVA(適格機関投資家向け)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年9月30日現在

●基準価額の推移(税引前分配金再投資)



●当月末基準価額・純資産総額

基準価額	17,689 円
純資産総額	473 百万円
設定日	2007年9月27日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

※基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
※基準価額および参考指標は設定日(2007年9月27日)の前日を10,000円として表示しております。
※基準価額は信託報酬控除後です。

●騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-2.31%	-2.91%	1.98%	4.55%	16.71%	76.89%
参考指標	-2.26%	-2.86%	2.18%	4.89%	18.29%	92.81%
差	-0.04%	-0.05%	-0.19%	-0.34%	-1.57%	-15.92%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。
※参考指標　以下の指数の月次騰落率に下記「マザーファンド組入比率」の基本配分比率を乗じた合成指数を参考指標といたします。
東証株価指数(TOPIX)(配当込み)×15%、NOMURA-BPI総合×15%、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)×5%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)×10%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)×45%、S&P 先進国 REITインデックス(除く日本、円換算ベース、配当込み)×10%

●マザーファンド組入比率

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	各資産の月次騰落率
国内株式	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ(最適化法)・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	15.3%	-0.28%
国内債券	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	15.1%	-0.45%
外国株式	外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	5.0%	5.1%	-3.08%
外国債券	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	55.0%	53.5%	-4.36%
外国リート	外国ﾘｰﾄ・ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	10.0%	9.8%	-7.10%
現金等	―	―	1.3%	―
合計	―	100.0%	100.0%	-2.31%

※比率は純資産総額に対する割合です。
※計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。
※外国債券の資産配分比率である55%のうち、45%相当部分を原則として為替ヘッジいたします。なお、為替ヘッジに伴う評価損益は現金等に含まれます。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
世界資産分散型S2

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

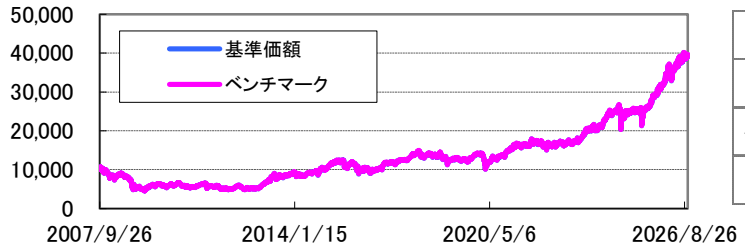
【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）の主たる投資対象である投資信託の運用状況

2026年9月30日現在

◆国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年9月26日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

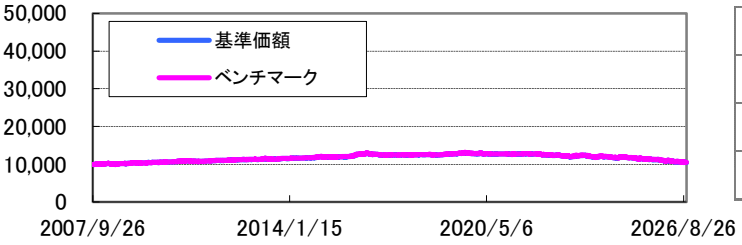
騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	−0.28%	3.79%	18.73%	33.92%	89.75%	296.12%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−0.27%	3.79%	18.74%	33.91%	89.75%	296.74%
差	−0.00%	0.00%	−0.01%	0.00%	−0.00%	−0.62%

純資産総額　934,336 百万円

※設定来の騰落率は2007年9月26日を基準に算出しています。

◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年9月26日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

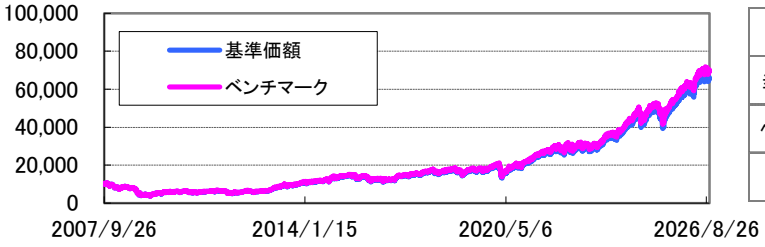
騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	−0.45%	−1.83%	−2.97%	−6.68%	−12.22%	5.14%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−0.46%	−1.85%	−2.98%	−6.71%	−12.21%	5.52%
差	0.01%	0.02%	0.02%	0.04%	−0.01%	−0.38%

純資産総額　417,298 百万円

※設定来の騰落率は2007年9月26日を基準に算出しています。

◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年9月26日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）です。

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	−3.08%	−0.45%	16.98%	22.12%	89.49%	554.04%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−3.11%	−0.42%	17.14%	22.39%	91.09%	592.72%
差	0.03%	−0.03%	−0.16%	−0.26%	−1.60%	−38.68%

純資産総額　2,942,483 百万円

※設定来の騰落率は2007年9月26日を基準に算出しています。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

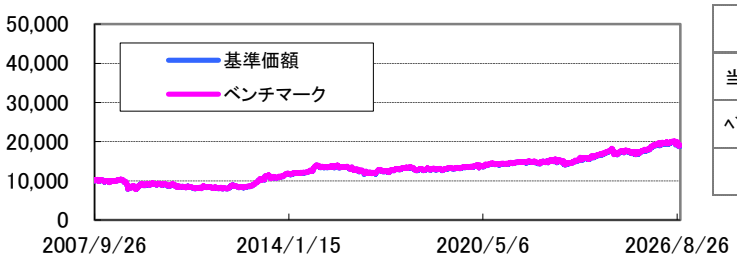
【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）の主たる投資対象である投資信託の運用状況

2026年9月30日現在

◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年9月26日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）です。

騰落率

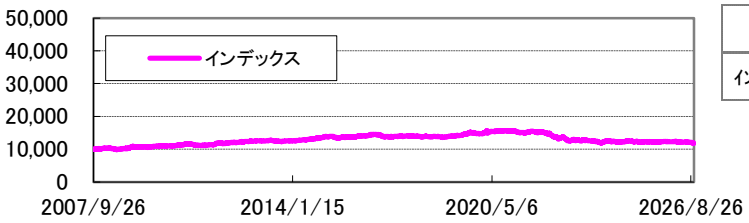
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	−4.36%	−5.95%	−3.08%	4.12%	20.10%	88.34%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−4.16%	−5.55%	−2.64%	4.50%	20.62%	90.36%
差	−0.19%	−0.40%	−0.43%	−0.38%	−0.53%	−2.02%

純資産総額　328,363 百万円

※設定来の騰落率は2007年9月26日を基準に算出しています。

◆ご参考−外国債券（ヘッジあり）インデックス−◆

外国債券の資産配分比率である55%のうち、45%相当分を原則として為替ヘッジいたします。



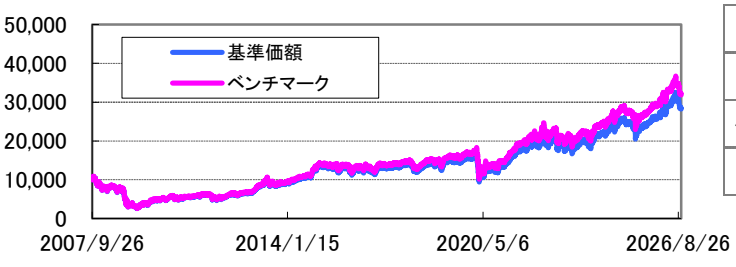
※インデックスは2007年9月26日の値を10,000として指数化しております。
※インデックスはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）です。

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ｲﾝﾃﾞｯｸｽ	−1.94%	−3.48%	−2.61%	−3.55%	−1.76%	17.90%

※設定来の騰落率は2007年9月26日を基準に算出しています。

◆外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド◆



※基準価額およびベンチマークは2007年9月26日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、S&P 先進国 REITインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み）です。

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	−7.10%	−9.93%	5.34%	13.18%	47.36%	182.19%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−7.11%	−9.87%	5.62%	13.76%	49.99%	218.63%
差	0.01%	−0.06%	−0.29%	−0.58%	−2.63%	−36.44%

純資産総額　135,214 百万円

※設定来の騰落率は2007年9月26日を基準に算出しています。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、実質的に株式や債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】世界資産分散型S2

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）の主たる投資対象である投資信託の運用状況

2026年9月30日現在

【資産クラス】国内株式

【マザーファンド】国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド

※株式には新株予約権証券を含む場合があります。
※比率は組入株式評価額に対する割合です。

●組入上位10銘柄

（組入銘柄：1629銘柄）

No	銘柄	業種	組入比率(%)
1	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	4.02
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.59
3	トヨタ自動車	輸送用機器	2.51
4	日立製作所	電気機器	2.44
5	ソニーグループ	電気機器	2.20
6	東京エレクトロン	電気機器	2.17
7	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.16
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.12
9	リクルートホールディングス	サービス業	2.10
10	アドバンテスト	電気機器	1.80

●組入上位10業種

No.	業種名	組入比率(%)
1	電気機器	21.00
2	銀行業	12.92
3	卸売業	7.50
4	情報・通信業	6.68
5	機械	5.77
6	輸送用機器	4.82
7	化学	4.46
8	サービス業	4.19
9	小売業	3.64
10	保険業	3.54

●市場動向

国内株式市場は小幅下落しました。月前半は円の急騰や原油高などから軟調に推移しましたが、その後は為替が円安に転じたことや原油が下落したこと、日米の利上げ決定を通過したこと等から値を戻す展開となりました。

【資産クラス】国内債券

【マザーファンド】国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●組入上位10銘柄

（組入銘柄：600銘柄）

No	銘柄	比率(%)
1	３５０回　利付国庫債券（１０年）	1.33
2	３６９回　利付国庫債券（１０年）	1.26
3	３７１回　利付国庫債券（１０年）	1.05
4	３５１回　利付国庫債券（１０年）	1.03
5	３５４回　利付国庫債券（１０年）	1.02
6	３６８回　利付国庫債券（１０年）	1.00
7	３７４回　利付国庫債券（10年）	0.96
8	３７７回　利付国庫債券（10年）	0.95
9	３７９回　利付国庫債券（10年）	0.95
10	３８１回　利付国庫債券（10年）	0.94

●セクター別比率

	比率
国債	87.90%
地方債	5.14%
金融債	0.00%
政保債	0.92%
社債	5.24%
円建外債	0.00%
ＭＢＳ	0.80%
ＡＢＳ	0.00%
合計	100.00%

●ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	2.73%
平均クーポン	1.01%
平均残存期間（年）	8.79
修正デュレーション	7.63

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

●市場動向

国内債券市場では、10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。月前半は、円高ドル安の急速な進展から国内の10年国債利回りは低下（価格は上昇）する場面がみられたものの、その後は米金利が大きく上昇したこと等を背景に国内の10年国債利回りは上昇する動きとなりました。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2．購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3．投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型S2

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）の主たる投資対象である投資信託の運用状況

2026年9月30日現在

【資産クラス】 外国株式
【マザーファンド】 外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。
※比率は組入株式評価額に対する割合です。

●組入上位10銘柄

（組入銘柄：1084銘柄）

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.12
2	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	5.67
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.21
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	大規模小売り	2.80
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	2.34
6	META PLATFORMS INC	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.90
7	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.88
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.85
9	MICRON TECH INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.41
10	TESLA INC	アメリカ	自動車	1.18

●組入上位10カ国

No	国名	比率
1	アメリカ	75.12%
2	イギリス	3.57%
3	カナダ	3.56%
4	スイス	2.55%
5	ドイツ	2.19%
6	フランス	2.14%
7	オランダ	1.93%
8	オーストラリア	1.62%
9	アイルランド	1.61%
10	スペイン	0.99%

●組入上位10業種

No.	業種名	比率
1	半導体・半導体製造装置	15.01%
2	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.80%
3	ソフトウェア・サービス	8.50%
4	資本財	7.79%
5	メディア・娯楽	7.21%
6	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.97%
7	銀行	6.95%
8	金融サービス	6.10%
9	一般消費財・サービス流通・小売り	4.35%
10	エネルギー	4.22%

●市場動向

外国株式市場は欧州を中心に軟調な動きとなりました。米国を中心に世界的に長期金利が上昇したことが重荷となったほか、中東情勢に進展がみられないこと、信用悪化懸念が浮上したこと等が売り材料となった一方、米大手テクノロジー企業の新サービスへの期待等を背景にAI・半導体関連株が堅調となるなか、欧州を中心に軟調な動きとなりました。

【資産クラス】 外国債券
【マザーファンド】 外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド
※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●組入上位10銘柄

（組入銘柄：1052銘柄）

No	銘柄	通貨	組入比率(%)
1	CHINA GOVERNMENT BOND 1.45 02/25/28	オフショア人民元	0.58
2	US T N/B 4.125 02/15/36	米ドル	0.55
3	US T N/B 4.25 02/15/54	米ドル	0.45
4	US T N/B 3.875 07/15/28	米ドル	0.44
5	CHINA GOVERNMENT BOND 1.26 05/25/29	オフショア人民元	0.44
6	US T N/B 4.25 08/15/35	米ドル	0.43
7	US T N/B 3.875 08/15/33	米ドル	0.42
8	CHINA GOVERNMENT BOND 1.46 05/25/28	オフショア人民元	0.42
9	FRANCE OAT 3.5 11/25/33	ユーロ	0.41
10	US T N/B 4.0 11/15/35	米ドル	0.40

●通貨別比率

通貨	比率
米ドル	44.37%
カナダドル	2.11%
メキシコペソ	0.86%
英ポンド	5.71%
デンマーククローネ	0.20%
ノルウェークローネ	0.18%
ユーロ	27.68%
スウェーデンクローネ	0.19%
ポーランドズロチ	0.71%
オーストラリアドル	1.35%
ニュージーランドドル	0.30%
韓国ウォン	1.65%
シンガポールドル	0.38%
マレーシアリンギット	0.50%
中国元	13.37%
イスラエルシュケル	0.44%
合計	100.00%

●ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	4.19%
平均クーポン	2.98%
平均残存期間（年）	7.71
修正デュレーション	5.84

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

●市場動向

外国債券市場では、10年国債利回りは米欧ともに上昇しました。中東情勢に進展がみられずエネルギー価格の高止まりが懸念されたほか、米財務省の国債買い入れ消却拡大の規模が市場の期待に届かなかったこと、堅調な経済指標が発表されたことなどを背景に、10年国債利回りは米国を中心に大きく上昇しました。
ドル/円相場は、上旬に日米の協調為替介入への警戒感などから円高ドル安が進展しました。その後は、堅調な米景気指標やタカ派的なFRB高官発言を背景にドルが主要通貨に対して上昇するなか、日銀の金融政策決定会合がタカ派的でなかったと受け止められたこともあり円安ドル高の動きとなりました。ユーロはドルと円に対して下落しました。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2．購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3．投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
世界資産分散型S2

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンドVA（適格機関投資家向け）の主たる投資対象である投資信託の運用状況

2026年9月30日現在

【資産クラス】	【マザーファンド】
外国リート	外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド　※比率は組入リート評価額に対する割合です。

●組入上位10カ国

No	国名	比率
1	アメリカ	80.46%
2	オーストラリア	6.23%
3	イギリス	3.87%
4	シンガポール	3.14%
5	フランス	1.92%
6	カナダ	1.12%
7	ベルギー	0.98%
8	香港	0.89%
9	スペイン	0.46%
10	韓国	0.24%

●組入上位10銘柄

（組入銘柄：280銘柄）

No	銘柄	国名	比率(%)
1	WELLTOWER INC	アメリカ	10.36
2	PROLOGIS INC	アメリカ	7.78
3	EQUINIX INC	アメリカ	6.18
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	4.08
5	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.83
6	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.22
7	PUBLIC STORAGE	アメリカ	2.96
8	VENTAS INC	アメリカ	2.75
9	VIVMARK RESIDENTIAL	アメリカ	2.73
10	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2.31

●市場動向

外国リート市場は下落しました。主要国の長期金利が上昇し利回りに対する相対的な魅力度が薄れたことや、軟調な米住宅関連指標なども重しとなったこと等から下落しました。

■東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

■NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

■FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■S&P 先進国 REITインデックスはS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスがアセットマネジメントOne株式会社（以下「アセットマネジメントOne」）に付与されています。S&P®、S&P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx®およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、アセットマネジメントOneにより一定の目的でサブライセンスされています。本商品は、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P 先進国 REITインデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。